コンテンツ海外展開協議会(第4回)議事要旨

1 日時

平成24年6月29日(金) 10時00分~12時00分

2 場所

株式会社三菱総合研究所 4階 大会議室

3 出席者(敬称略)

【構成員】

中村 伊知哉 慶應義塾大学 メディアデザイン研究科 教授【主査】

大山 秀徳 東映アニメーション株式会社 常務取締役 経営戦略本部副本部長

小川 正人 スカパーJSAT株式会社 経営戦略本部 経営企画部長

金光 修 株式会社フジテレビジョン 経営企画局長

川崎 由紀夫 株式会社テレビ東京 アニメ局長

川島 保男 株式会社テレビ朝日 コンテンツビジネス局長

君嶋 由紀子 日本テレビ放送網株式会社 コンテンツ事業局 国際事業部長

古嶋 雅史 アクセンチュア株式会社 メディア・エンターテイメント統括 エクゼクティブ・パートナー

近藤 耕司 一般社団法人全国地域映像団体協議会 理事長

樋泉 実 北海道テレビ放送株式会社 代表取締役社長

仲尾 雅至 株式会社東京放送ホールディングス 次世代ビジネス企画室長

楢島 文男 日本放送協会 ライツ・アーカイブスセンター長

林 朋夫 株式会社電通 ビジネス統括局次長

平岩 靖 株式会社よしもとクリエイティブエージェンシー 企業営業センター センター長補佐 兼アジア・企業営業センター センター長補佐(高龍太郎構成員代理)

福田 賢治 株式会社WOWOW 経営戦略局 メディア戦略部 サブリーダー (大高信之構成員代理)

堀 義貴 株式会社ホリプロ 代表取締役社長、一般社団法人日本音楽事業者協会 副会長

松谷 孝征 NPO法人映像産業振興機構 理事長、株式会社手塚プロダクション 代表取締役社長

御子神 大介 住友商事株式会社 理事 メディア事業本部長

宮地 和樹 三井物産株式会社 情報産業本部 メディア事業部長

村田 嘉邦 株式会社博報堂DYメディアパートナーズ スポーツ・エンタテインメントビジネス局 局長代理

矢島 良彰 社団法人全日本テレビ番組製作社連盟 副理事長

【オブザーバー】

佐藤 文俊 総務省 政策統括官(情報通信担当)

竹村 晃一 総務省 情報流通行政局 情報通信作品振興課長

都築 智 文化庁 長官官房国際課 海賊版対策専門官

伊吹 英明 経済産業省 商務情報政策局 文化情報関連産業課長

根来 恭子 外務省 広報文化交流部 総合計画課 課長補佐

木村 直樹 内閣官房 知的財産戦略推進事務局 内閣参事官

小杉 雅博 フジテレビジョン 編成制作局 担当局長

【事務局】

中村 秀治 株式会社三菱総合研究所 情報通信政策研究本部長

4 議題

- (1) ローカライズについて
- (2) アニメの海外展開について
- (3) 日本コンテンツの海外展開について
- (4) 報告書(案) について
- (5) 海外市場調査の進捗報告

5 議事の概要

(1) 開会

事務局から、開会が宣言された。

(2)議事

- (i) ローカライズについて
 - ●ローカライズへの取組について、小杉オブザーバー及び君嶋構成員より発表があった。
- (ii) アニメの海外展開について
 - ●アニメーションの海外展開に向けた取組について、川崎構成員及び大山構成員より発表があった。
- (iii) 日本コンテンツの海外展開について
 - ●日本コンテンツの海外展開について、楢島構成員より発表があった。
- (iv)報告書(案)について
 - ●事務局より報告書(案)について説明が行われた。
 - ●上記発表に対して、構成員から発言があった。主な発言内容は以下のとおり。
 - 〇提言として出すだけでなく、実績を作っていく必要がある。誰がいつまでに何をやるといった具体的な目標あるいはアクションプランを入れることができればよいのではないか。
 - ○現状の提言は、韓国のコンテンツ振興院あるいは中国が取り組んでいる内容に類似しているように見える。 これらの提言に加えて、韓国や中国を追い越すために彼らに先んじた施策を合わせて実施していく必要が あるのではないか。
 - 〇具体的な施策として何を実施することができるかは、どの程度の予算が確保可能かにも依存すると思われる。
- (v) 海外市場調査の進捗報告
 - 事務局より市場動向調査の結果に関する説明が行われた。
- (3) 閉会

中村主査及び事務局より、今後のスケジュール等に関して説明が行われた。中村主査から、閉会が宣言された。

以上